

日光白根山の火山活動解説資料（平成 24 年 12 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

歌ヶ浜（日光白根山の南東 13 km）に設置にしてある遠望カメラによる観測では、山頂部に噴気は認められませんでした。

・地震活動（図 2-①、図 3※）

日光白根山を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。

今期間、日光白根山の山頂から北北東へ約 12 km 付近で、17 日頃から地震活動がやや活発となり、17 日 18 時 48 分にはマグニチュード（M）3.7¹⁾ の地震が発生し、栃木県日光市で最大震度 3 を観測しました。この他、17 日から 20 日にかけて、栃木県日光市などで最大震度 1 を観測する地震が合計 7 回（M2.5～2.7¹⁾）発生しました。19 日以降は、徐々に地震活動は低下してきています。

火山性微動は観測されませんでした。

1) マグニチュード（M）の値は暫定値で、後日変更することがあります。

・地殻変動の状況（図 2-②※③※④※）

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。



図 1 日光白根山 山頂部の状況
(12 月 28 日 歌ヶ浜遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 1 月分）は平成 25 年 2 月 7 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、東北大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

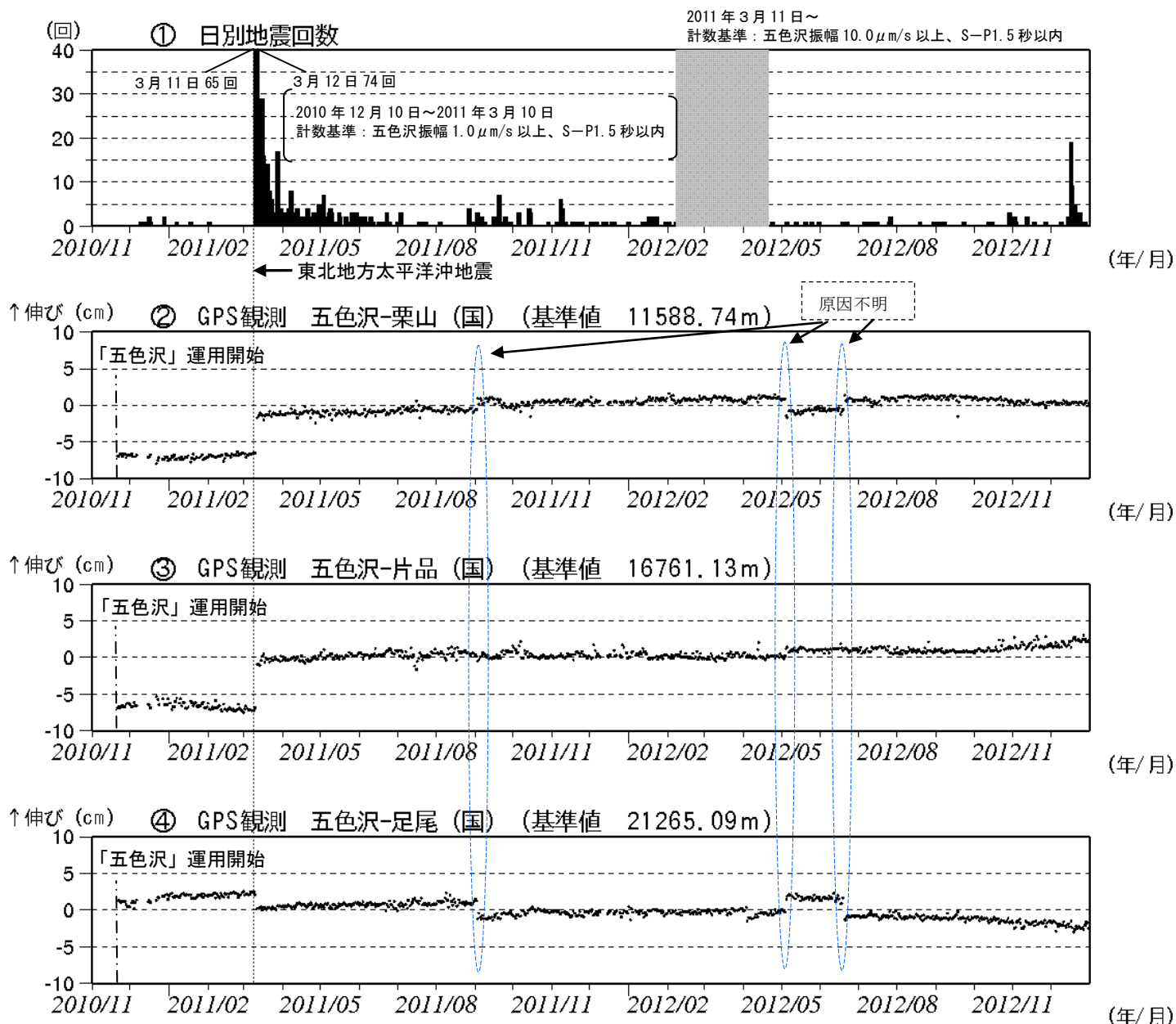


図2 日光白根山 火山活動経過図 (2010年11月20日～2012年12月31日)

- ① 日光白根山周辺の日別地震回数
 - ・2010年12月10日観測開始
 - ・2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、日光白根山の周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。
 - ・グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ②*～④* GPS連続観測による基線長変化 (国)：国土地理院
 - ・五色沢観測点の運用開始日：2010年11月20日
 - ・2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
 - ・青い波線で示したデータの飛びの原因は不明です。
 - ・グラフの空白部分は欠測を示します。
 - ・②*～④* は図4の②～④に対応しています。

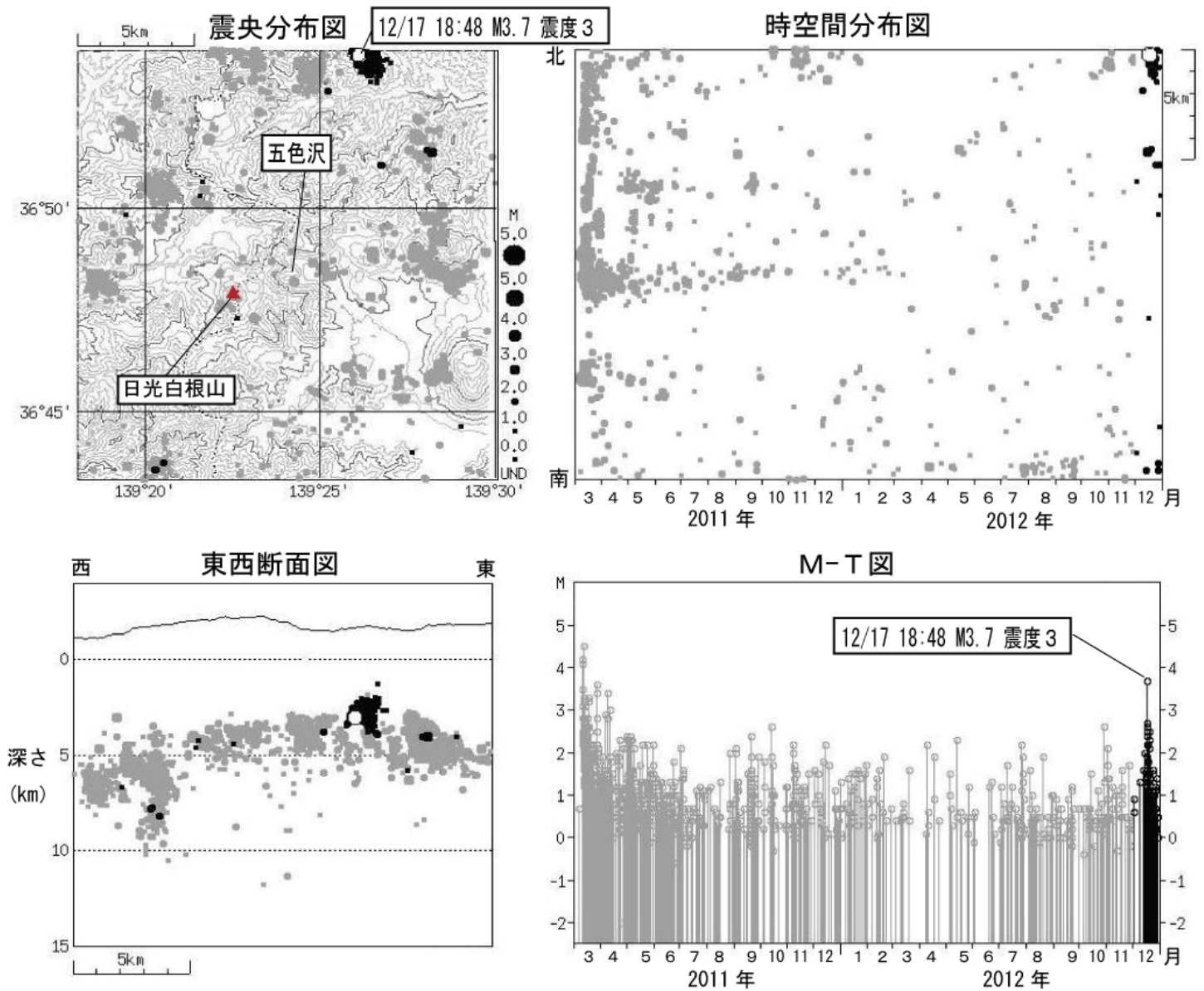


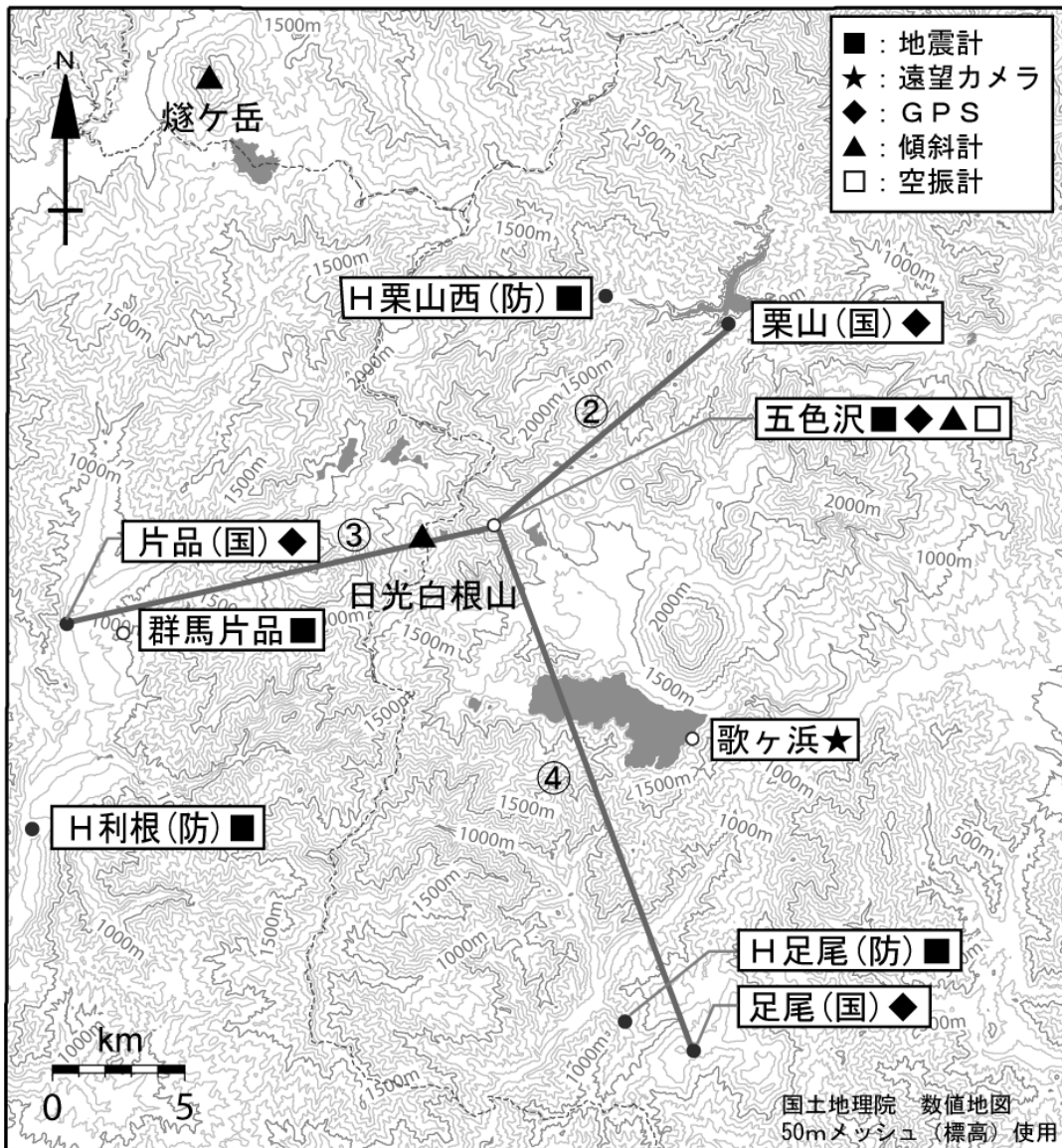
図3※ 日光白根山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2011年3月1日～2012年12月31日)

● : 2011年3月1日～2012年11月30日

● : 2012年12月1日～2012年12月31日

今期間、日光白根山の山頂から北北東へ約12km付近で、17日18時43分にM3.7の地震が発生し、日光市で最大震度3を観測しました(図中白抜きのシンボル)。また、17日から20にかけて、日光市などで最大震度1を観測する地震が7回発生しました(M2.5～2.7)。

- ・ M (マグニチュード) は地震の規模を表します。
- ・ 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- ・ 日光白根山付近を震源とする地震の発生は少なく、地震活動は静穏に経過しました。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国) : 国土地理院、(防) : 防災科学技術研究所

図4 日光白根山 観測点配置
 GPS 基線②~④は図2の②*~④*に対応しています。